

# 米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

科学を通して世界をつなぐ

国際化するほどどんな人か?

参加するには?

Webサイトの案内  
http://www.jps.go.jp/j-sdialogue/

SSH 16-17

ようこそ博士!

世界の研究者が語る 科学の世界

地域の大学や研究機関で活躍しているJSPSフェローから、英語で研究の話や聞き取りという経験が、生徒たちに大きな刺激を与え、研究への関心・国際理解を深めるだけでなく、JSPSフェロー自身にとっても、地域社会と交流し、日本とのつながりを深めることをねらいとしている事業である。

FS表現3、FS表現4、サイエンス・ダイアログを掲載する。  
FS表現とは、国語科及び英語科が協働し、生徒のコミュニケーション力やディスカッション力、ディベート力を養成する取り組みの一つ。  
今回は、その中の第3回と第4回の模様をお伝えする。  
また、サイエンスダイアログについては、日本学術振興会(以下、JSPSと略)が、JSPSのフェローシップ制度により来日している、優秀な若手外国人研究者(JSPSフェロー)に有志を募り、近隣の高等学校等において、英語で研究に関するレクチャーを行う機会を提供するプログラムである。



英語の発表を通して  
1年男子(米沢7中出身)  
FS表現Ⅲ、Ⅳでは、今まで学んできた内容を英語のポスターを作り発表した。私はこの活動で、伝えることのむずかしさを学ぶとともに伝えることの大切さを教わった。  
発表するにあたって、最も難しかったのは、伝える相手が日本人だったことだ。私たちは日本語をできる限り分かりやすい英語に訳して、ジェスチャーを交えながら発表した。使い慣れない英語での発表がどれだけ大変か痛感した。発表を聴く側になると相手が話していることを自分の中で理解することが大変だった。また、英語を用いて山大的留学生の方とコミュニケーションをとることはとてもいい経験になった。  
どれだけ自分の考えがあっても伝える力がないと意味がないことを知った。もっと英語の知識を増やして自分の考えを国を超えて発信できるようになりたい。

サイエンスダイアログに参加して  
2年理数科女子(米沢2中出身)  
京都大学で無機先端機能化学について研究なさっているファビオ先生から英語で講義を受けました。日頃のSCIや台湾研修などで外国人と英語を通じてコミュニケーションをとる機会は多々ありましたが、日本語でも難しい専門的な内容のプレゼンテーションを英語で聞く貴重な機会となりました。研究の内容は高度情報化社会の到来を前に、新たな「機能材料」を探索・開発しているというものでした。ファビオ先生は、特に結晶構造へ化学的なアプローチをかけることで未知なる可能性へ挑んでおり、将来の産業発展を予期させるものであると感じました。また、講義の後に私自身が行っている研究についても相談し、意見をお聞きしたところ、行き詰っていた問題も新たな視点で向きあうことができとてもプラスになりました。今回の経験を通して、探求心が増したとともに、国際力の重要性を強く感じる事ができました。



049

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email [yonekojo@pref-yamagata.ed.jp](mailto:yonekojo@pref-yamagata.ed.jp)  
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

